

子ども自然環境体験教室 in 那須レポート 2023



2023年3月28日～30日 於：国立那須甲子青少年自然の家





主催：NPO きれいな山をありがとう
協力：福島県山岳連盟・栃木県山岳連盟

子ども自然環境体験教室 in 那須

雪遊び隊は雪探し隊となりました

寒気団が何度も猛襲した今季の冬でしたが、3月に入り温度は急上昇。期待していた残雪は、ほぼ消え去りそうになっていた那須甲子青少年自然の家に向かうことになりました。バスで出発して、開口一番「ごめんなさい。雪遊び隊は雪探し隊になりそうです。」と子どもたちに伝えました。地元白河で、前日まで積雪状態を下見して下さっていた福島県山岳連盟の三森さんから、前々日の雨で雪は殆ど消えてしまったという連絡が入っていたからです。

施設の敷地内から赤面（あかづら）山へと続く登山道のアプローチに位置する「パノラマ展望所」では、この季節であればスノードーム作りができるほどの残雪があるはずでしたが、すっかり雪が消えていると言うのです。私どもとしては、雪遊びが難しいなら、冬から春へと変化しつつある森を思い切り味わってもらえないかと切り替えることにしました。子どもたちに自然を味わってもらうこと、自然の中で没頭する時間を持ってもらうこと、自然を眺めてぼーっとする時間を持ってもらうこと、そして出会った友だちと楽しい思い出を作ってもら

うことが私どもの活動の目標だからです。

ハイキングコースにわずかに残る残雪でも大喜びで雪合戦を始める子どもたち。この季節、未だ踏む人も少ない山道には、思った以上に「山登り」を感じたようです。2日目午前中は、地元の自然観察指導員の三村さんと早春の体の森に入りました。樹に触ってみたり、匂いを嗅いでみたり。みんなで歩を進め、白河方面が見渡せる「かたらいの丘」では山びこに挑戦。還ってこないのは地形のせいと説明すると皆、そうなのか、の顔。午後は雨が降り始めて、屋内オリエンテーリングに決定。全て初顔合わせの3人ずつのグループを編成。広い館内を目標を探し回ります。終了後は、屋根付きピロティでお菓子付きのティーパーティ。キャンプ用のコンロでお湯を沸かして楽しみました。室内に戻って、お家の人にハガキを書きます。

3日目最終日は、バスで会津側の観音沼自然公園へ。雪があればスノーシューハイクでしたが、早春の散策となりました。ここから見える雪の那須連峰に「絶景だな～」の声も上がりました。ここでも僅かな残雪で雪遊びです。

私どものこの活動を支えて下さった福島県山岳連盟三森様、自然観察指導の三村様、助成いただいたこどもゆめ基金様、何より、少ない雪でも思い切り楽しんでくれた子どもたち、励ましあう心を持ち続けてくれた子どもたちに、心より感謝したいと思います。

2023年4月30日

NPO きれいな山をありがとう理事長 張 晶子
活 動 の 記 録

【3月28日(火)】

07:30 新宿西口出発

出発。「雪遊び隊は雪探し隊に変更」宣言。
蓮田SA、上河内SA、2ヶ所でトイレ休憩。
バスではマスク着用。座席は、友人、学年の近い順。新規参加者を間に。

11:20 国立那須甲子青少年自然の家本館着

本館キピタルームにて、福島県山岳連盟会長の三森さんから「60年以上この辺の山を歩いて、こんなに早く雪が無くなるのに驚いていますが、三日間を元気で、仲間と楽しく、那須の自然を楽しんで下さい。」というお話で、体験教室のスタート。自己紹介は名前と読んでほしい呼び名、今一番好きなこと、これから3日間の自分のめあて。学齢縦割りのチームが発表され、「星」「雪」「空」の文字を使って、それぞれチーム名を話し合う。「北斗七星」「雪女」「空飛ぶゴリラ」の3チーム名が決まる。(記：張)

12:30~13:10 昼食

本館食堂にてバイキングランチ。時間予約制。
他団体とは距離を保てる広さ。

14:00～16:30 野外活動

【雪探し隊と】雪を探して出発。一行は昼食の後、三森リーダーの先導の下、いよいよ今回のメインテーマである雪原を求めて山谷に分け入るのであった。情報によれば、3月のこの時期であってもまだ雪深く、普通のバス型の自動車では自然の家にすら近づけない事もあったそうである。しかし今回は天が我々に御方したのか車道に雪は無く順調にここまで来る事が出来た。しかし、しかしである。車道に雪が無いだけでなく何処にも無いのである。我々の目的はあくまでも雪遊びである。雪が無いと遊べないのである。そこで雪を求め山谷に分け入る事となった。雪があればスキー場であるはずの草原を抜け、林を横切り、まずは沢筋へと向かう。そこで我々が見たのは、かつて雪の重みで折れたのであろう巨木が獣道を塞ぐ光景であった。幾本かの倒木を乗り越え前進するも、いよいよ後退を決断せざるを得ない時が来た。我々一行は今来たばかりの獣道を引き返した。途中、先頭を行く三森リーダーが山頂へ向かう獣道を見つけ、我々一行はその道を喘ぎながら登るのであった。どの位の時間が経過したであろうか、ついに大自然は我々の眼前にその姿を現した。美しく、そして白く輝く雪は一条の沢となり、我々の行手を塞ぐかの如く現れたのである。山頂より北部の沢に降りれば更に大きな雪原が見込まれるという。スノードームを作るはずだった予定通りのパノラマ展望台にたどり着き、雪のない頂上部で休憩を兼ねて待機している時であった。そこで山頂より北東に向かう沢に遂に程良い雪原を見つけたのである。深く1メートルも抉られた谷底に幅70～80センチ、距離約5メートルにわたる大雪渓を発見したのである。我々は当然だがそこでとことん遊んだ。そして意気揚々として宿舎へと向かったのである。 (記：長島)

17:00～18:00 入浴

入浴時間。本館の中浴場。本日は宿泊団体は他になく、時間交代で利用となる。

18:00～18:40 夕食

本館食堂にて夕食。他団体がいないので固定メニュー。中学生を基準して下さっている所以で量は多い。おかずのお代わりは早い者勝ち。

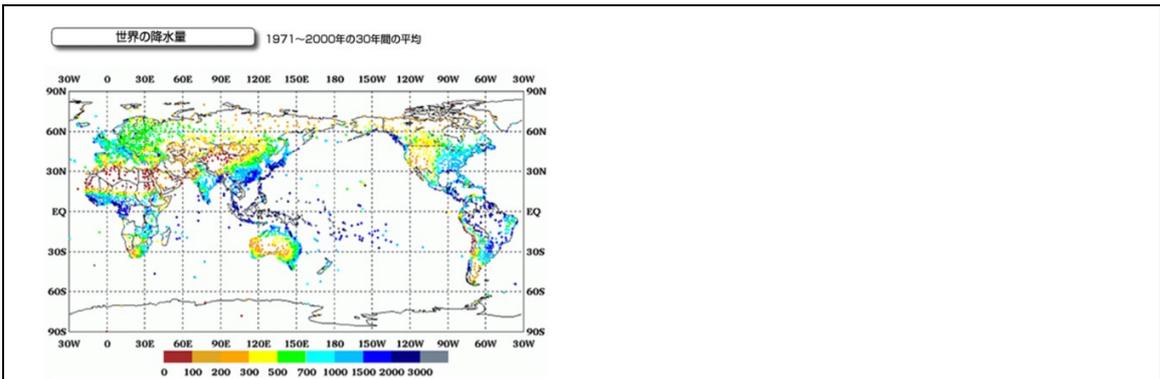
19:00～20:00 環境学習の時間

【環境学習1：大気中のチリやホコリのいたずら】

雪遊びに来たのに雪が無く残念ですが、雲と雨と雪の話を楽しみましょう。

日本の降水量は世界平均の2倍あります。降水量とは雨と雪の降った量です。世界平均は880mmで、日本は1718mmもあります。

雲は、待機中の水蒸気がチリやホコリなどを核にして氷の粒となり、さらにくっ付きあって雪の結晶となります。これが地上へ落ちてくる間に溶けて水滴になり雨となります。溶けずに落ちてくるのが雪です。雨と雪はどちらも元々氷なので、それが大気中に固まって浮かぶのが雲です。



気温によっては、雨と雪が同時に降ることがあります。これをミソレと言います。雲が地表に接しているものを霧と言います。

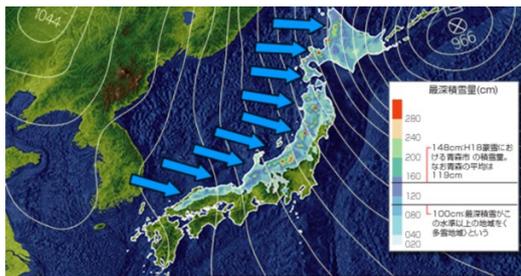
ヒョウは春や秋の積乱雲の中で上昇下降を繰り返し、水蒸気をまとめて大きく重くなり、空気中に漂うことができなくなって落ちてくる5mm以上の氷の粒です。アラシは5mm以下の水分の氷結で、ヒョウよりは柔らかい氷の粒です。

このように大気中のチリやホコリが水分をまとめて、雲になり、雨になり、雪にもなり、ヒョウやアラシにもなるのです。いつか雪が降って来たら、虫メガネで雪の結晶を観察してみましょう。
※資料：国土技術センター（記：内田）

【環境学習 2：日本に大雪がふる理由】

日本の豪雪のしくみを5分で話します。沢山雪が降るのは何県だろう？北海道？青森県？秋田県？新潟県？北の方で、西側の県が多いね。日本海側の北の方ですね。

冬は北西の大陸から冷たい空気が偏西風によって強く吹いてきます。この風は日本海の水分をたっぷり含んで来ます。それが日本列島の山みやくにぶつかります。たとえば、3人の中2男子が並んで立ってたら吹いてきた風は向きを変えざるを得ない。



内田さんのお話のように、水分を含んだ風が冷たい空気の中に急上昇すると大量の氷の粒になって、ぶつかった山みやくの上に落ちてきます。日本海の水分と冷たく強い風と日本の山が、3点セットで豪雪を生みます。

一夜で降る雪の量は、アルプスよりもヒマラヤよりも多く、町に降る雪も世界の1～3位が日本の町（2016年降雪量。1位青森市、2位札幌市、3位富山市です。積雪量とは異なります。）
※資料：国土技術センター（記：張）

20:00～21:00 ふりかえりミーティング

【ふりかえり1日目の記録から】

Q1：心に残ったこと Q2:ここの印象 Q3:今日の感想

- ・雪遊び。当たると痛かったけど、みんなでワイワイ出来た。(Q1)

- 雪が無くてガッカリしたけど、山からの景色がきれいだった。(Q1)
- 山登りの大変さに気づきました。途中にあったフンが何の動物か気になりました。(Q1)
- みどりがたくさんあって、すごくいい空気のところです。(Q2)
- このいんしょうはごはんがうまいです。(Q2)
- いなくて感じがしてイイと思った。(Q2)
- 夏の家とはお風呂の広さがちがった。ぜいたくでびっくりした。(Q2)
- ラーメンがおいしい。(Q2)
- 雪がなかったけど、ご飯や部屋がすごくてワクワクしました。(Q3)
- 雪を探すためにみんなで協力して山に登ったのが良かったです。(Q3)
- 思ったよりしっかり山に登った。夏に比べてゆっくり過ごせた。(Q3)
- たくさんの人と話が来て、今日はとても楽しかった。特に雪遊びはとても楽しかった。(Q3)
- 行きのバスからずっと楽しい。今日の残りも、あと2日が楽しみ。(Q3)
- いくときともだちも2人いたし、今日1日だけでもすごく楽しかった。(Q3)
- 山に登るのが大変だったけど、雪がっせんをしたり、山でいろいろなことができてよかったです。(Q3)
- かんきょうの学習で、雨やひょうなどいろいろ知れて、友だちもできたので良かったです。(Q3)

【3月29日(水)】

06:30~07:30 起床・朝食

起床。身の回りの事を済ませて、美味しい食堂に並ぶ。昨夜から宿泊の全国ソフトボール大会のお姉さんたち 200 人は早々に出発しているので、ゆっくり朝食をとる。

09:00~11:00 野外活動・自然観察

【なすかし自然観察】

青少年自然の家の登録地元講師の三村さんをお願いしていた、本館周辺の植物などの自然観察に出発。まずはロータリー脇の「マンサク」の木。春が近づくと「先ず」「咲く」ことからそう呼ばれる。その先には「シラカバ」の木。みんなが知ってる高地の木。さらに高い山に生える「岳樺（ダケカンバ）の木との見分け方を聞く。岳樺には黒い目のような枝の落ちた跡がある。皮が薄い。枝も白い。白樺の幹は白いが枝は黒い。



「沙羅（シャラ）の木。荒れた土地で最初に芽を出すたくましいパイオニアだという説明を聞く。

しだいに建物から離れ、林へと入って行く。山桜、夜叉節、ブナ、と触りながら行くと、細くて柔らかい枝の、あまり背の高くない木で三村さんが止まる。これは

「ニワトコ」の木。早速、ハリーポッターファンから声が上がった。「ハリーポッターの杖の木だ！」冬芽からまさに芽吹きだすところ。薬用木として知られる。

「赤松」「うりはらかえで（秋には黄～オレンジに紅葉する）」「夏つばき」「栃（とち：マロニエと近い種）」と、いろいろな木に触れながら林を歩く。



フキノトウがいくつも出ている。もうかなり大きく開いているが、スタッフの一人が手で採ると、「えー、これが本物のふきのとうなの？」と何人かの子も触っている。もうかなり大きく開いているが、スタッフの一人が手で採ると、「えー、これが本物のふきのとうなの？」と何人かの子も触っている。「天ぷらにすると美味しい

んだよ」と言われると、いくつも抱えて帰った子もいた。稲科である笹もこの周辺には多い。歩いた範囲には都笹が見られた。途中、落ちた栗や松ぼっくりを見つけたり、うさぎのかじった跡から、うさぎは細木を斜め下からかじることなどのお話を聞きながら、本館に戻った。 (記：張)

12:00～12:40 昼食

本館にてランチ。他団体がおらず、固定メニューの定食スタイル。ラーメンが人気。

13:00～15:30 雨天時メニュー

【屋内オリエンテーリング：なすかしココドコ】

予定では、パノラマ展望台でのスノードーム作りでしたが、雪がないため前日に地元之三森さんと相談の上、白河市の関山登山に変更すると決めていたところ、昼食中に雨が降り出し、しばらく続くとの予報に、雨の日メニューに再度変更になりました。

少年自然の家全館を使って、渡された 20 枚の写真が何処にあるか探して、地図に記入するというゲームです。

3～4 人のグループの 5 チームに分かれて、正確さと所要時間での競い合いに、みな真剣に相談しながら館内を駆け回りました。幸いこの時間は私たちの団体のみの滞在でしたので自由に使うことができました。

自然の家のスタッフからは「かなり難しいので 1 時間半から 2 時間はかかりますよ」といわれていたのですが、50 分後には息を弾ませて 1 番のチームが戻り、相次いで皆もどってきて、1 時間 15 分後には全員が戻りました。

問 1 2



←みんな知ってる
お風呂のマーク

難問だった防火扉

問 1 7



採点してみると全問正解は最初に戻ったチームのみ、後は一つ、二つ、三つと間違いがあり、なんと最後のチームは全問不正解！3位までの班には長島スタッフが小枝と木の実で作ったリースの賞品が授与されました。

子どもたちは、充分運動になったし、何よりチームの仲間と協力して親しくなれて楽しかったとかなり評判が良く、雨でも大いに楽しめたようです。

その後、屋根付きピロティーでガスバーナーを使って紅茶を沸かし、お菓子付き「お茶会」です。2つの大机を囲んで仲良く話し合いながらお菓子を食べ、和やかなひと時を過ごしました。
(記：本木)

15:30～17:00 お茶会とおたよりの時間

ティーパーティを楽しんでから、学習室キビタルームに入って、お便りを書く時間。自宅の住所、お父さんの名前、実は知らないいろいろなこと。今回は紙のハガキだったせいか、画を描く子はほとんどおらず。伝えたい気持ちは書けたかな。

17:20～18:00 夕食

夕食。今夜は山盛りのプレート。唐揚げが5個、ミニバーグが2個、その下にはスパゲティミートソースが隠れていて、さらにカレーもライスもチョイス出来る。それでも、「食べない人」から追加をいただく大食漢が何人もいる。

18:00～19:20 プレイホールでお楽しみ会

【お楽しみ会】

二日目夕食後の「お楽しみ会」は1時間という短い時間だったが十分楽しめたようでした。場所は本館プレイホール、広々としたスペースで三三五五集まってくるメンバーはボールで遊んでいましたが、みんながそろったところで始まりました。

オープニングはフルーツバスケットです。印のついた場所に一人ずつ立ち、その一つはお立ち台、ヒーロー席です。そこに立った人は「今まで参加した行こう火の山で一番楽しかったことは？」「ここでの食事で美味しかったのはなに？」など2、3のインタビューに答えた後、「中学生」「黒いものを身につけている人」などの条件を言い、該当者は別の印に移動するといった、席取りゲームをしました。

次は班でそれぞれ考えてくれた「演しもの」です。トップバッターは「空飛ぶゴリラ」チームのジェスチャー、身振り手振り一生懸命表現するメンバー、想像力を

働かせて「ゴリラ」「ホームラン」と当ていくみんな笑いが絶えませんでした。二番手は「雪女」チームの「身長あてクイズ」170 cm以上の中学生から小学2年生まで身長順にすらっと並んだメンバー、「メンバー2人の身長をたすと300 cmなります。だれとだれでしょう？」みんな真剣にみくらべながら「〇〇と〇〇」、「270 cmになるのは？」「〇〇と〇〇」、観察力と計算力を使った楽しいゲームでした。最後の取りは「北斗七星」チームの「タケノコによっき」みんなで輪になって「たけのこたけのこニョッキキ！」の元気な声が響きました。19時もまわって残り15分、小4女子にダンスをしてもらうことになりました。他のメンバーがボール遊びをしている間に打ち合わせをもらって「おたのしみ会」の最後は中学生男子〇〇君も加わって「群青」のダンス。みんなノリノリのうちに閉会になりました。みなさん楽しい「演目」を考えてくれてありがとうございました。（記：宇津）

19:30～20:00 入浴

入浴。男子が中浴場を利用。全国ソフトボール大会の女子選手が200人いるので、女子が大浴場を利用。

20:00～21:00 ぶりかえりミーティング

【ぶりかえり2日目の記録】

Q1:自然観察 Q2:屋内オリエンテーリング Q3:お楽しみ会

- ・見たかったシラカバの木を見られて良かった。(Q1)
- ・ふきのとうがすごくキレイだった。もう1回行きたくなる。(Q1)
- ・パッと見たら同じに見える木も、よく見ると違う木だったりすることがあり、とても面白かった。(Q1)
- ・石や木や草やいろいろあって自然を感じられた。(Q1)
- ・かぶれる木があるということをはじめて知って、びっくりした。(Q1)
- ・山びこは地形によって返ってくる来ないが変わることが分かった。(Q1)
- ・久しぶりに山に行って自然を感じる事ができた。見たことがない花や、聞いた事が無い名前の木があった。(Q1)
- ・防火とびらの29番を見つけるのがむずしかった。(Q2)
- ・を見つけるのがむずかしかったけど、みんなで楽しくできた。紅茶やおかしを食べあったりして楽しかった。(Q2)
- ・自然の家のことがたくさん知れて、1位もとれたのでうれしかったです。みんなで仲良くお茶会もできたのもよかったです。(Q2)
- ・見つけ出すことを協力してすることができて、コミュニケーションや仲が深まりました。(Q2)
- ・さいしょにやったフルーツバスケットはすごく楽しかった。(Q3)
- ・ダンスがうまかった。たけのこニョッキもクイズも楽しかった。(Q3)
- ・自分の班のゲームが楽しいか心配だったけど、いがいにもり上がってくれて良かったです。ぐんじょうのダンスもすごかった。(Q3)

- ・さいごにみんなの前で、××と▲▲と○○でおどって、きんちょうしたけど、すごく楽しかったです（Q3）
- ・みんなで声を出して笑ったりするのは、本当に楽しかった。（Q3）

【3月30日(木)】

06:30 起床・清掃

起床。宿泊した部屋の清掃。使用したシーツの返却。バスに積むバッグを指定された荷物棚に運ぶ。

07:30 朝食

朝食。片付けも上手くなりました。

08:50 野外活動・観音沼散往復

【観音沼自然公園散策】

那須甲子少年自然の家から眺めて甲子山山系の裏側にある下郷町の観音沼にバスで向かいました。ここは、地形的に那須・甲子山系を分水嶺にして観音沼から流れる水は日本海に流れる源であります。観音沼（みたらせ池）は周囲 1800m で、春の樹木はコブシ、ヤマブキ、ツツジ、サクラなどの花々が見られるのですが、まだ少し早く見る事が出来ませんでした。

また、観音沼には数多くの浮島があり、水生植物や昆虫などが生息しておりますが、残念ながら自然観察することが出来ませんでした。しかし、観音沼の湖畔から望む山並みの稜線は三本槍ヶ岳、大峠、流石山、三倉山、大倉山が雪に覆われて素晴らしい展望を見せてくれました。例年ですと、この辺は残雪があって雪遊びやそり滑りなどができるのですが、今年は降雪も少なく天気の良い日が続き、雪解けも早かったです。しかし、参加されたみなさんは自然を肌で感じ、素晴らしい体験をしたと思います。

私もNPO「きれいな山をありがとう」のスタッフの一員として、那須甲子少年自然お家で実施した体験教室に参加させていただき、スタッフの方々の熱意ある行動には学ぶことが数多くありました。最後に、参加された皆さんが、自然に親しみ、自然を大切にしてくれることをお願いします。（記；三森）

【しもごう道の駅おみやげタイム】

戻る途中にある道の駅。那須甲子青少年自然の家では売店が縮小されているので、ここが唯一のおみやげを購入するチャンスとなる。規模は大きくないが、周囲が見渡せる景色の良い道の駅で、記念撮影ポイントでもあるようだ。

会津地方の名産品が多い。子どもたちは、お小遣いをしっかり「数えて、家族のことを思い返しながらか、おみやげ選びに楽しく悩んでいる。持参したおやつを食べ切ってしまった子は「帰りの分買ってもいいですか？」と聞いて来るので、1個

までよし、と許可をする。レジは案の定行列が出来てしまった。みんな満足した？

11:00 ふりかえりミーティング

宿舎に帰着して、学習ルームに向かう。

【ふりかえり最終回の記録】

Q1：一番楽しかったこと

Q2：一番辛かったこと

Q3：お友だちへ一言

Q4：一番勉強になったこと

Q5：3日間をふりかえると

- ・みんなでおしゃべりしながらごはんを食べたこと。(Q1)
- ・雪合戦を1日目と3日目にしたこと。久しぶりに雪にさわったこと。(Q1)
- ・しぜんかんさつです。なぜなら知らないしょくぶつをたくさん知れてうれしかったです。(Q1)
- ・夜にあんしゴーグルで見えないものが見えたのが楽しかった。(Q1)
- ・雪がっせん。今日のは広いところでやって良かった。(Q1)
- ・一番楽しかったのは、お土産を買ったときです。(Q1)
- ・色々なおみやげを友だちと選べたのが楽しかったです。あんしゴーグルで光を見れたもの楽しかったです。(Q1)
- ・みんなで行った雪合戦。久しぶりに遊んだから。(Q1)
- ・中々集まらない4人で楽しくおしゃべりしながらご飯を食べられたこと。(Q1)
- ・辛かったことはとくにない。(Q2)
- ・山登り。消灯10時は早すぎた。(Q2)
- ・そうじがつかった。ふとんが大きくてたたむのがむずかしかった。(Q2)
- ・1日目の雪さがし。登るときはつらくて、下るときはこわかったです。(Q2)
- ・一緒に話してくれてありがとう。みんな優しく、感動。また会いたい。(Q3)
- ・大好き。大好き。大好き。大好き。(Q3)
- ・みんなへ。3日間ありがとうございました。(Q3)
- ・3日間、みんながささえてくれたり、優しくしてくれたので、うれしかったです。(Q3)
- ・フキノトウは食べられる。天ぷらにするとうまい。(Q4)
- ・三村さんのダケカンバの話。(Q4)
- ・ヒョウのことです。はじめて知ったことがたくさんありました。(Q4)
- ・三村さんの植物の話です。(Q4)
- ・シラカバをこまかくかんさつした。(Q4)
- ・山のすばらしさと雪のすごさ、日本のすごさに気づかされた。私が自然に保護されていることに気づいた。(Q5)
- ・野外活動で、もっと雪あそびがしたかった。山登りもしたかったです。(Q5)
- ・友だちはこのキャンプでたくさんできて、中学生などともなかよくできて、すご

く楽しかったです。またくるねー。(Q5)

・はじめて会った人とも仲良くなれた。お風呂が気持ちよかった。雪が無くて残炎だった。お楽しみ会が楽しかった。ダンスがカッコよかった。(Q5)

・友だちといっしょに、いっぱい楽しくすごした。(Q5)

・グループ活動を通して全体の仲が深まった気がした。(Q5)

・みんなと仲良く出来た。だから楽しかったんだと思う。みんなで遊んだり、お菓子を食べたりしたのが、強く印象に残っている。最後のキャンプが楽しくなって良かった。中3でもOKして下さい。雪で遊びたい！(Q5)

・友だちがいっぱいになってすごくうれしい。自ぜんがどんなのか知れてすごくうれしかったし、スタッフのみなさんがささえてくれて本当によかった。パーン！ありがとう。(Q5)

【体験教室の閉室の会】

思い思いのふりかえりを終わって、感想を少し披露し合って、いよいよ最後のセレモニーとなる。体験修了証を、福島県山岳連盟の三森さんから一人一人に手渡ししていただく。はじめての参加者も、3回目の参加者も、少しだけ緊張しつつ受け取って行く。

12:00 昼食

昼食。食堂最後の利用。「ずーっとここで食べたい！」の声も上がる。ご飯と味噌汁お代わり自由で、ラーメンもいただける。飲み物もドリンクバー方式。おいしかったね。食堂スタッフのみなさん。ありがとうございました。

13:00 帰京

那須甲子青少年自然の家を出発。東北道経由で東京に向かう。上河内SAと蓮田SAでトイレ休憩。車内はいつまでもにぎやか。首都高速道路に入り渋滞があり、予定より30程度の地帯となった。保護者への連絡が必要になる。自分の携帯で出来る子は自分で、その他はスタッフが手分けをして遅延連絡をする。

17:30 新宿駅西口に到着。全員元気で帰宅となった。



特定非営利活動法人きれいな山をありがとう

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂 1-25-6

E-mail info_hp@kireinayama.org

FAX 03-3428-1914

URL <https://kireinayama.org>